

全国大会における組み合わせの方法について（混合）

第36回全日本バレーボール小学生大会実行委員会 競技委員会

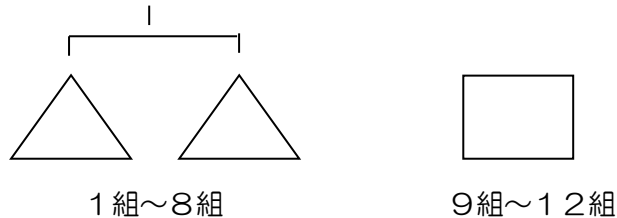
1. 1日目の組み合わせ（公開）

① 隣接する都道府県同士の対戦を避けるための配慮として、都道府県を下記の6グループに分け、各グループ内の5～8チームを各コートに、抽選によって振り分ける。

- ・第1グループ：北・北海道、南・北海道、青森、岩手、（秋田）、山形、宮城、福島（7）
- ・第2グループ：茨城、栃木、（群馬）、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨（7）
- ・第3グループ：長野、（新潟）、富山、（石川）、（福井）、静岡、愛知、岐阜（5）
- ・第4グループ：三重、滋賀、京都、奈良、和歌山、大阪、兵庫、鳥取（8）
- ・第5グループ：島根、岡山、広島、（山口）、香川、徳島、愛媛、高知（7）
- ・第6グループ：福岡、（佐賀）、長崎、（熊本）、大分、宮崎、鹿児島、沖縄（6）

② 同一ブロック内である愛知と三重、鳥取と島根は同じコートに入らない。

③ 抽選を進めると、先に9組～12組が埋まってしまうこともある。その時は、同じグループで1組～8組に入ることもあるが、同じ組にならないように配慮する。

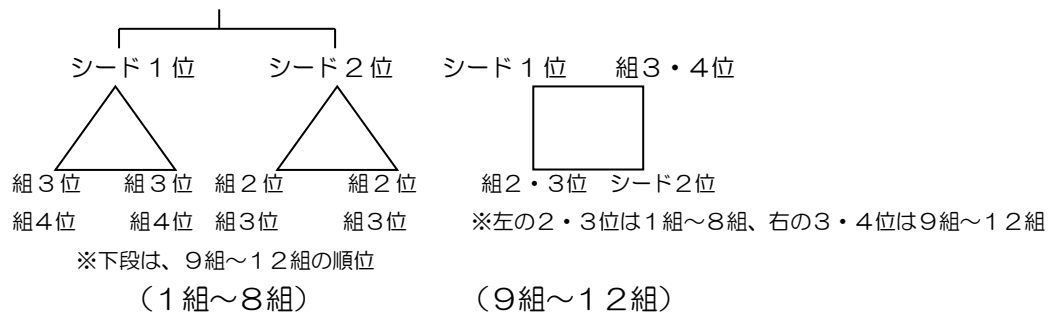


2. 2日目の組み合わせ（公開）

① 1日目の各コートのシード1位チームは1組～8組の3位チームか9組～12組の4位チームと対戦し、コートのシード2位チームは1組～8組の2位チームか9組～12組の3位と対戦する。1組～8組の1位同士が対戦し、勝者チームと9組～12組の1位チームが3日目の決勝トーナメントに進出する。

② 1日目に対戦したチームとは、同じ組に入らないように配慮する。抽選の結果、同じ組になった場合、抽選のやり直しをする。

③ 隣接地域については、配慮しない。但し、北海道は同地区のため配慮する。



3. 3日目（決勝トーナメント）の組み合わせ（公開）

① 完全フリー抽選とする。1日目に対戦していても、配慮しない。